

(14) 545 頁 [A304 地域包括医療病棟入院料]		
1 行目	別添 3	別添 4
(15) 667 頁 [A315 精神科地域包括ケア病棟入院料]		
11 行目	別添 3	別添 4

特掲診療料編

場所	訂正前	訂正後
(1) 1295 頁 [K554-2/K555-3 胸腔鏡下弁形成術・弁置換術]		
「診療報酬」の直前の※	※「K554-2 胸腔鏡下弁形成術（内視鏡手術支援機器を用いる場合）」には通則 18 が適用されており、併せて施設基準告示「第十二・二の五」（1369 頁）を参照	※「K554-2 胸腔鏡下弁形成術（内視鏡手術支援機器を用いる場合）」及び「K555-3 胸腔鏡下弁置換術（内視鏡手術支援機器を用いる場合）」には通則 18 が適用されており、併せて施設基準告示「第十二・二の五」（1369 頁）を参照
(2) 1365 頁 [K 通則 18 内視鏡手術用支援機器を用いる手術]		
16 行目	[K740-2・1/2/5 腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）（低位前方切除術）（切断術）]（腹直腸切支）様式 52・87 の 18	[K740-2 腹腔鏡下直腸切除・切断術]（腹直腸切支）様式 52・87 の 18
(3) 1367 頁 [K 通則 18 内視鏡手術用支援機器を用いる手術]		
表 K655-2・1 K655-5・1 K657-2・1 の箇所の 2 つ右の 列および その右隣 の列	K655、K655-2、K655-4、K655-5、K657、K657-2=50 例以上 20 例以上	K655、K655-2、K655-4、K655-5、K657、K657-2=30 例以上 15 例以上
(4) 1368 頁 [K 通則 18 内視鏡手術用支援機器を用いる手術]		
表 K740-2 の箇所	K740-2・1/2/5 腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術、低位前方切除術、切断術）	K740-2 腹腔鏡下直腸切除・切断術
(5) 1368 頁 [K 通則 18 内視鏡手術用支援機器を用いる手術]		
表 K803-2 の箇所の 2 つ右の 列	K803・2~5、K803-2、K803-3=10 例以上	K803・2~5、K803-2、K803-3=5 例以上
(6) 1368 頁 [K 通則 18 内視鏡手術用支援機器を用いる手術]		
表 K860-3 の箇所の 2 つ右の 列	K860-2、K860-3、子宮腫瘍手術=30 例以上（うち K860-2、K860-33=3 例以上）	K860-2、K860-3、子宮腫瘍手術=30 例以上（うち K860-2、K860-3=3 例以上）
(7) 1368 頁 [K 通則 18 内視鏡手術用支援機器を用いる手術]		
表 K555-3 の箇所の 2 つ右の 列	体外循環使用手術=100 例以上（心臓弁膜症手術 60 例以上含む）	体外循環使用手術=100 例以上（心臓弁膜症手術 60 例以上含む） 経食道心エコー=100 例以上 K555-3=20 例以上

(8) 1369 頁 [K 通則 18 内視鏡手術用支援機器を用いる手術]			
表 K655-2・3 K655-5・3 K657-2・4 の箇所の 2つ右の 列および その右隣 の列	K655、K655-2、K655-4、K655-5、K657、K657-2=50 例以上	20 例以上	K655、K655-2、K655-4、K655-5、K657、K657-2=30 例以上
(9) 1369 頁 [K 通則 18 内視鏡手術用支援機器を用いる手術]			
表 K773-6 の箇所	K773-6 腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術〔新設〕	K773-6 腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術〔新設〕	
(10) 1378 頁 [K740-2 腹腔鏡下直腸切除・切断術]			
左段 19行目～ 23行目	K740-2 腹腔鏡下直腸切除・切断術【1・2・5を算定する場合】	K740-2 腹腔鏡下直腸切除・切断術	
	1 切除術 75,460 点	1 切除術	75,460 点
	2 低位前方切除術 83,930 点	2 低位前方切除術	83,930 点
	5 切断術 83,930 点	3 超低位前方切除術	91,470 点
		4 経肛門吻合を伴う切除術	100,470 点
		5 切断術	83,930 点